

建築人

7

2017

大阪ホンマもん



中央公会堂
Central Public Hall

淀屋橋
Yodoyabashi

平佐橋通

堺筋
Sakai-jin

建築人

7
2017

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

4 女性分科会三〇周年リレーエッセイ 中島 薫

こころをつなぐ

6 動静レポート

7 Topics

8 第9回建築人賞発表

12 Gallery 建築作品紹介

JA 大阪市平野支店

企画・設計 オリコム関西 河村開建築研究所
施工 浅沼組 オリコム関西

宇部興産大阪研究開発センター

設計監理 大成建設関西支店 一級建築士事務所
建築施工 大成建設関西支店

グループホームやよい（障がい者グループホーム）
設計 プラッツ設計 施工 サンエース

17 記憶の建築 松隈 洋

旧・広島陸軍被服支廠 一九一三年
東京駅よりも古い被爆建物の今

18 建築の射程 須賀順子

木質材料を構造物に取り入れる

26 理事会報告 建築相談室から 編集後記

私にとつての建築士会

公益社団法人大阪府建築士会
副会長 石貫 方子



この度副会長に就任しました石貫です。よろしくお願いします。

私は大阪府建築士会に入会してちょうど二〇年になります。私は社会に通用するプロフェッショナルでありたいという思いから建築士資格を取得しました。大学は建築系でしたが勤め先は電機メーカーということもあり、常に建築について学び情報を得ておかなければ置いて行かれる、ペーパードライバーになってしまう、という危機感があつたからなのです。

建築士の登録説明会で建築士会に入会を申込みましたが、しばらくは何も活動はしておらず、士会活動に参加し始めたきっかけは入会の一年後くらいに会社の上司から地域の近代和風建築調査の誘いを受けたことでした。大学院で建築史を専攻していましたが、仕事で古い建物に触れる機会がなかったため、調査が非常に楽しかった記憶があります。若い頃は会社の仕事も忙しくて四苦八苦していましたが、仕事とは異なるこの楽しい「学び」から離れられず、建築士会の活動を継続してきました。現在存在する職業の半分以上は将来AIなどに置き換えられるといわれています。世の中も技術も年々めまぐるしく変化しています。私にとつての貴重な建築の「学びの場」であり時に「遊びの場」でもある建築士会は今後その重要性を増していくものと思われま

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪の金融街の中心部北浜に重厚な造りのレトロビルが今も大切に利用されている。明治時代以降、北浜にあった株式取引所を中心に数多くの金融関連などの杜屋が建設された。建物は大正十一年（一九二二年）に、報徳銀行の大阪支店として建てられた。建物の設計は河合建築事務所が担当し、施工は清水組が請け負った。建物規模は地下一階、地上四階建てで、構造は鉄筋コンクリート造。一階部分に四本の立柱を配し、外壁を花崗岩仕上げとしたファザードは、当時の銀行建築らしい重厚なものだ。しかし、上層階は華美な装飾類は極力排除し、流行のタイルが張られたモダンなものとされた。設計者である河合浩蔵氏は工部大学校造家学科でジョサイア・コンドルに建築を学び、関西建築界における長老的な存在であった。現在はテナントビルとして大切に利用されている。建物は街にとつて必要な存在と位置づけられ「新井ビル」はこれからも生き続ける。

建築人 7 2017

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会		
編集	建築情報委員会『建築人』編集部		
委員長	飯田英二		
編集人代表	荒木公樹		
編集人	河合哲夫	北 聖志	
	黒川祐樹	中江 哲	
	橋本頼幸	丸子勇人	
	牧野隆義		
事務局	山本茂樹	母倉政美	
印刷	中和印刷紙器株式会社		

住宅・住宅の省エネ基準、省エネ
計算方法など)
3章 省エネ設計技術
発行 学芸出版社 価格 定価3,456円
販売 全国の大型書店、ネット書店
本会事務局でも販売：
本会会員価格3,000円(税込)

第37回大阪都市景観建築賞(愛称大阪まちなみ賞)推薦募集 7/1～7/31

本会と大阪府・大阪市・(一社)大阪府建築士
事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部・
(一社)日本建築協会の6者で主催する第37
回大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ
賞)の推薦受付を行います。
趣旨 美しく、個性と風格のあるまちの景観づく
りを進めていくために、周辺景観の向上
に資し、かつ景観上優れた建物やまち
なみを表彰する
賞 大阪府知事賞、大阪市長賞、審査員特別
賞、建築・サインアート賞、緑化賞、奨励賞
推薦方法 大阪まちなみ賞HPから推薦
※自薦による応募も可能
受付期間 7月1日(土)～7月31日(月)
(当日消印有効)
詳しくは大阪まちなみ賞HPをご覧ください。
<http://osaka-machinami.jp/>
問合 大阪都市景観建築賞運営委員会
(公社)大阪府建築士会内)
Tel.06-6947-1961

第61回大阪建築コンクール 受賞者講演&トークセッション 7/14 CPD2単位(予定)

第61回大阪建築コンクール受賞者による受賞
作品についての講演会を開催します。作品の
紹介はもちろん、建築に対するそれぞれの思い
を語っていただきます。また、審査委員とのトーク
セッションも予定しております。
日時 7月14日(金) 19:00～21:00
会場 関西大学梅田キャンパス4F
Me RISEラボ
大阪市北区鶴野町1-5
出演者(予定)
大阪府知事賞・横関正人・横関万貴子、柳

川賢次、特別賞：児玉謙、奨励賞：堤庸策
遠藤秀平審査委員長、審査委員
定員 80名
参加費 無料

第60回建築士会全国大会 「京都大会」 12/8

今年の建築士会全国大会は、近畿ブロックの
京都で開催いたします。京都府の各地を見学
する地域交流見学会も充実した18コースが用意
されています。ぜひ、ご参加ください。
テーマ 山とまちと木造建築
日にち 12月8日(金)
※全国建築士フォーラム、全国ヘリテ
ー・ジマネージャーネットワーク協議会総
会は前日の12月7日(木)に実施
会場 京都市勤業館「みやこめっせ」
京都市左京区岡崎成勝寺町9-1
申込 建築士6月号P31の参加申込書に必要
事項をご記入のうえ、本会事務局まで提出
(ご送付いただいた申込書は、まとめてそ
のまま主管の建築士会へ送付いたします
ので、楷書で漏れなくご記載ください。
締切 7月28日(金)
大会の詳細は「建築士6月号」をご覧ください。

事務局からのお知らせ 2017年版会員名簿の掲載事項について

9月刊行予定の会員名簿につきましては、掲載
事項が①氏名②勤務先名③勤務先住所・電
話・Fax④建築士級別(正会員のみ)となってお
ります。つきましては、
A.氏名以外(②～④)を掲載しない。
B.連絡先が自宅のみのため、③に自宅の連絡
先を掲載する。
C.氏名を含め一切掲載しない(ホームページの
名簿からも削除)。
のいずれかを希望される場合は、7月21日(金)
までにFaxまたは郵便にて事務局までご連絡を
お願いいたします(既にご連絡をいただいている
場合は不要です)。

本会の催し参加問合・申込先

大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

Administration

行政からのお知らせ

「実感できるみどりづくり事業」募集 (大阪府) 6/8～7/31

大阪府では、緑化施設の整備とあわせて、緑
化促進活動に取り組む民間事業者を「実感・み
どり事業者」として認定し、その活動について、
PR、助成を行う「実感できるみどりづくり事業」
を実施しています。
土地・建築物を所有されている施主が対象で、
義務緑化以上の緑化施設の整備に、最大
1,000万円の事業費補助があります。
認定及び補助申請の募集期間
平成29年6月8日(木)～平成29年7月31日(月)
詳細は、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/kikin/jikkanmidoridukuri.html>
申込・問合 大阪府 環境農林水産部
みどり推進室 都市緑化グループ
Tel.06-6210-9558

ニュータウン全国会議フォーラム ～「ニュータウン・取組の新展開」泉北ニュー タウンまちはらぎ50周年を迎えて～ 7/20

本会議は、全国のニュータウン関係者が広域
的に情報の収集と発信、課題と多角的な視点

の共有を行い、問題解決と新たな取組の展開
に繋げることを目的としています。

1967年のまちびらきから50年を迎える泉北
ニュータウンで開催します。

主催 堺市、泉北ニュータウン再生府市等
連携協議会(※)
※構成メンバー：大阪府、堺市、大阪府
住宅供給公社、独立行政法人都市再
生機構西日本支社、南海電気鉄道株、
(一財)大阪府タウン管理財団
日時 7月20日(木) 13:30～16:00
会場 泉ヶ丘センタービル3階大集会室
大阪府堺市南区茶山台1丁2-1
参加費 無料
定員 300名程度(自治体職員、研究者及び
事業者、地域住民等)申込先着順
申込・問合 堺市市長公室ニュータウン地
域再生室
Tel.072-228-7530
詳細は以下のHPをご覧ください。
<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/senbokusaisei/newtownzenkokukaigiforamu.html>

Others

その他のお知らせ

第38回「住宅メンテナンス診断士」 講習会」大阪会場 8/4 CPD5単位

国土交通省の「新たな住生活基本計画」の施
策に基づいた「資産として価値のある住宅」に
欠かせない「住宅の維持管理、メンテナンス」の
講習会です。
日時 8月4日(金) 9:25～16:50
会場 新大阪丸ビル別館2-3会議室
大阪市東淀川区東中島1-18-22
定員 100名(先着順受付、定員になり次第締切)
締切 7月28日(金)
参加費 27,000円
問合 (一社)住宅長期支援センター
Tel.06-6941-8336
<http://www.holsc.or.jp/>



心から応援したいと考える。

女性分科会三〇周年リレーエッセイ
こころをつなぐ
委員 中島 薫
士会活動に携わり一四年を経て、今日
に至るまで多くの見学会、講演会、セミ
ナー、勉強会を企画催行し、経験するこ
とで、建築士としての知識や人間として
の幅を深めてきたように思う。振り返る
と、平成二三年七月一四日に、大阪府建
築士会メンバーと宮城県の大蔵地に訪れ
た時のことが思い出される。宮城県建築
士会清本多恵子さんの案内で、石巻市、
日和山展望台、仙石線、塩釜、多賀城、
太白区、青葉区折立地域等に立ち寄り被
災状況を視察した。初めて会う私たちに
嫌な顔もせず、日々の活動で疲れている
だろうに、時間の許す限り同行して案内
してくださった。あれから七年が経ち、
背の高い防潮堤や新しく造成されたまち
づくりもできつつあるが、まだまだ問題
は累積されている。震災後の復興の様子
を毎年お聞きしながらも、目に見えて力
になれるようなことができてないが、現
在のご苦労を和らげられるような気持ち
を持ってこれからも活動していきたい、

INFORMATION については本会ホームページにも掲載されています。
本会ホームページの WEB 申込システムから簡単に申込みができます。【詳細は大阪府建築士会ホームページ】<http://www.aba-osakafu.or.jp/> まで

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価等
(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

平成29年度建築士定期講習 8/24、9/22、10/18、11/20、12/14 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成26年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず受講してください。

日程・会場

8/24(木)	大阪国際交流センター 定員200名 会場コード5C-52
9/22(金)	大阪府建築健康会館 定員90名 会場コード5C-03
10/18(水)	大阪国際会議場 定員200名 会場コード5C-53
11/20(月)	大阪府建築健康会館 定員90名 会場コード5C-04
12/14(木)	大阪府建築健康会館 定員90名 会場コード5C-54

時間 9:25～17:00

申込書必着日 8/24(木)講習:7/20(木)
9/22(金)講習:8/18(金)
10/18(水)講習:9/13(水)
11/20(月)講習:10/16(月)
12/14(木)講習:11/9(木)

※各回定員に達し次第、受付を終了します。

受講料 12,960円(消費税含)

申込書配布・受付場所
大阪府建築士会事務局
大阪府建築士事務所協会事務局

監理技術者講習

7/20、9/13、11/9、1/18、2/15、3/7
CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひ受講下さい。

日程 7/20(木)、9/13(水)、11/9(木)、1/18(木)、2/15(木)、3/7(水)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築健康会館

定員 各回90名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

既存住宅状況調査技術者講習 新規講習8/22、9/6 CPD各5単位 移行講習7/20、8/24 CPD各3単位

平成28年2月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けられる予定です。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められ、新たな建築士業務となります。なお、従来のインスペクター登録者は同調査を実施できませんが、その方々を対象に規定の講義の一部を免除した「移行講習」も開催します。ぜひこの機会に本講習を受講いただき、新たな建築士業務の資格を取得してください。

<新規講習>

日時 8月22日(火)、9月6日(水)
10:00～18:00

会場 大阪YMCA国際文化センター
定員200名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込21,060円
郵送申込21,600円

<移行講習>

日時 7月20日(木)、8月24日(木)
13:00～17:45

会場 たかつガーデン
各回定員180名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込16,740円
郵送申込17,280円

<申込方法>

日本建築士会連合会HPよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

大阪府知事指定講習

建築物省エネ法・省エネ設計技術講習会 7/25 CPD各4単位

2015年7月に建築物省エネ法が制定され、2017年4月から省エネ適合性判定制度が導入されました。また2020年までに住宅を含むすべての建築物の省エネ基準への適合の義務化が予定されています。本講習では、本会の省エネ

特別委員会作成、大阪府監修による「建築物の省エネ設計技術」をテキストとして、大阪府建築指導室担当官や執筆者等が講師を担当し、住宅・非住宅建築物の省エネ基準や評価方法、適合性判定制度、省エネ表示制度などの建築物省エネ法や、省エネ性能を向上させる設計技術についてわかりやすく説明します。

日時 7月25日(火) 13:20～18:00

会場 たかつガーデン

内容 ①省エネ適合性判定制度・大阪府温暖化の防止等に関する条例の改正、②建築物省エネ法の概要・省エネ性能表示制度等、③非住宅・住宅建築物の省エネ基準・省エネ計算、④建築物の省エネ設計技術

定員 200名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,000円
一般5,000円(テキスト代別途)

テキスト 「建築物の省エネ設計技術」
(大阪府監修) 発行:学芸出版社
特別価格:3,000円(税込)

大阪府知事指定講習

平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 8/4・1/30 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 ①8月4日(金) ②1月30日(火)

時間 9:30～16:00

会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各120名(定員になり次第締切)

受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

大阪府知事指定講習

大阪工業大学梅田キャンパスにみる省CO₂の技術とデザイン 8/9 CPD3単位

大阪工業大学梅田キャンパス「OIT梅田タワー」は、さまざまな環境配慮により、国土交通省の住宅・建築物省CO₂先導事業に採択された都市型大学です。外装材一体型太陽光発電を組み込んだエコロジカルスキンや空調熱源の最適運転制御など省エネ技術の導入をはじめ、災害発生時も事業・生活を継続し、地域防災と連携するよう計画されています。本講習会では設計担当者による解説と建物見学を行います。

日時 8月9日(水) 13:00～16:30

会場 大阪工業大学梅田キャンパス

内容 OIT梅田タワー建築概要、タワー型キャンパスにおける環境配慮施設とパッシブデザイン、OIT梅田タワー見学、質疑応答

定員 120名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

平成29年度 大阪府ヘリテージマネージャー育成講座(全9日間) 8/26～1/20 CPD1日または6単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け、大阪府のさなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材「ヘリテージマネージャー」を育成することを目的に行う講習会です。全9日間の講座(講義時間数は例年通り合計40単位)で歴史、修復技術、実測実習、保存活用などの基礎を学びます。

日程 ①8月26日 ②9月9日
③10月7日 ④10月21日
⑤11月4日 ⑥11月18日
⑦12月2日 ⑧12月16日
⑨平成30年1月20日(全9日間・土曜日)

時間 13:00～17:00(但し10月7日、11月18日は10:00～17:00)

場所 大阪倶楽部、中之島図書館 他

募集 20名(申込先着順)

受講料 本会会員25,000円
会員外30,000円

申込 7月10日(月)より本会ホームページからWEB申込してください。

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

大阪府知事指定講習

平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法講習会》 9/8・12/7・2/9 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①9月8日(金) ②12月7日(木)
③平成30年2月9日(金)

時間 10:00～15:50

会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各100名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円

テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

新刊書のご案内

大阪府監修 「建築物の省エネ設計技術」 ～省エネ適判に備える～

本会の特別委員会(委員長:近本智行立命館大学教授)は、省エネ技術書「建築物の省エネ設計技術」を5月1日に発刊しました。本書は2020年までに進められる建築物の省エネ基準適合義務化を見据え、建築実務者の対応について、省エネ制度の全容や基準の算出方法、非住宅・住宅に生かせる45の省エネ技術と設計のポイントについて丁寧に解説しています。省エネの実務書として実践でご利用ください。

書名 「建築物の省エネ設計技術」～省エネ適判に備える～

監修 大阪府

内容 B5変型判 188ページ(オールカラー)
1章 省エネ性能に優れた建築事例
2章 省エネ制度(建築物省エネ法、非

動静レポート

会長動静

- 5/26 理事会（連合会）
- 5/29 近畿外壁仕上業協同組合総会
- 5/30 大阪府収用委員会
- 5/31 大阪府建築士事務所協会総会
- 6/ 9 日本建築材料協会 KENTEN
- 6/13 大阪府収用委員会
- 6/16 運営委員会
近畿建築士会協議会女性部会
近畿確認検査機構総会
- 6/19 正副会長会議（連合会）
- 6/20 総会（連合会）
- 6/21 正副会長会議、理事会
- 6/22 省エネ設計技術講習会
- 6/23 日本建築協会総会
日本リノベーション・マネジメント協会総会

※（連合会）：日本建築士会連合会

運営委員会

事務局会議スペースの拡張

7月1日より、本会事務局が入居している高田屋大手前ビル5階フロアの全部を本会が借用し、事務局会議スペースの拡張を、6月度理事会で決定しました。現状の会議スペースは非常に狭く、理事会の開催や複数の委員会会議の同時開催に支障があるなど、本会活動が近年活発化する中で、今後の活動への影響が懸念されていました。入居されていた大阪府建築士事務所協会の分室が転出し、その跡スペースを本会が借り受け、本会活動の拠点となる会議スペースを拡張して、会議環境を整えることとしたものです。拡張スペースでは、理事会や小規模講習会の開催も可能となり、委員会活動等のさらなる活性化に繋がるよう、有効に活用したいと考えております。

運営委員会

市町村空家対策等協議会への建築士委員派遣状況

本会では行政や公的団体が設置する審議会や委員会など66の組織に、延べ約180名の会員建築士を派遣しております。現在、国が平成26年11月に公布した空家対策特別措置法に基づき、府内13市

町村が空家対策等協議会を設置しており、今年度は、本会から藤井寺、河内長野、富田林、岸和田の各市の協議会委員として派遣し、これまで委員を派遣した市町村は延べ12市となりました。市町村の空家対策等協議会では、空家の所在や所有者の把握を行い、対策が必要な空家を選別し、所有者に対して適切な管理を促進するための情報の提供や助言その他必要な援助について取り決めます。また、特に対策が必要な「特定空家等」への助言または指導・勧告・命令を講じることなどの方針を取りまとめ、その内容を条例等で定めます。本会の空家対策に関する活動はインスペクション部会が担当しており、現在実施している「既存住宅状況調査技術者講習」の修了者を活用した既存住宅流通の活性化や、空家の利活用方策の検討など、空家を減少させるための取り組みを、積極的に展開する方針です。

研修委員会

本年度第1回目の建築士定期講習を開催

建築技術教育普及センターの主催で本会が運営を担当する、本年度第1回目の建築士定期講習を6月6日に開催し、会場が満席となる約200名が受講されました。建築士事務所に所属するすべての建築士は、3年以内ごとに定期講習の受講が建築士法で義務付けられています。本会の定期講習の特徴は、ビデオを使用せず、行政担当官や民間の経験豊富な実務者が講師を担当します。例年好評につき、受講を希望される方全員が受講できるよう、年間の講習日と定員を増設していますが、ご希望の日程が満席のため受付できないこともありますので、受講対象の方はぜひお早めにお申込みください。

社会貢献委員会

耐震部会運営規程の改正

本会耐震部会では、既存木造住宅の耐震性能向上を図り、府民の安心・安全を守る取り組みとして、市町村等からの依頼

により、地元住民に対する耐震説明会や住宅所有者等の希望により、耐震診断等を行う部会員を派遣しています。また、部会では、委員の診断技術向上を図る定期的な勉強会や、診断現場において経験の浅い委員の育成・指導なども行っています。近年、耐震診断の依頼件数が年間100件を超え、部会の委員数も約70名に増加するなど、活動が活発化しております。部会では業務の増加・複雑化などによる勘違いや見落としなどを防止し、本会耐震業務の質の向上を図るため、部会委員が行った業務内容の妥当性を本会の第3者が再度チェックする仕組みの導入や、規程に反した場合の罰則などを明文化し盛り込んだ部会運営規程改正案を6月度理事会に諮り承認されました。本会は、府民から信頼され頼りにされる団体であるよう、常に本会が行う業務のより適正化を図る取り組みを続けます。

社会貢献委員会

大阪急性期・総合医療センターへの本会応急危険度判定士を派遣

本会では、大阪府との協定により、震度6弱以上の大地震時に、本会所属の応急危険度判定士を府の要請により、府内の市町村に派遣できるよう、判定士への連絡体制を構築しております。大阪急性期・総合医療センター（旧府立病院）は、2006年の独立行政法人移行により、施設管理は独自で行っており、大規模な施設であることから、災害時に大阪府や大阪市から応急危険度判定の支援を受けることができない状況にあります。また、当病院は災害時の拠点病院に指定されており、災害時における患者等の安全を確保し、継続して医療サービスを提供するため、本会に応急危険度判定の支援を要請しています。本会では、大地震時に病院からの依頼により本会所属の応急危険度判定士を派遣する方針を6月度理事会で決定し、近く協定を締結することとしています。また、病院の作成するBCP計画についても、建築防災の観点から意見を述べるなど、病院に対して支援を行う予定です。

「第一回建築課外授業シリーズ1」～淡路瓦工場見学と南あわじ建築めぐり～

日程：平成29年4月15日（土） 参加者：21名

建築課外授業シリーズの第一弾である淡路瓦工場見学と南あわじの建築等の見学ツアーに参加しました。最初に淡路瓦工業組合のセミナー会場で淡路瓦の歴史や瓦の製作等のレクチャーを受けたあと、工場に移動して淡路瓦の土から製作されていく流れを見ながら、淡路瓦の製作他説明を受けました。工場見学のあとは兵庫県から平成10年に美しい街づくりに寄与したとして「さわやか街づくり賞」を受賞している洲本の旧鐘紡紡績工場跡（建築群）に向かいました。レンガ造りの建物内にある淡路ごちそう館御食国（みつづくに）というレストランで昼食を終え、洲本市民広場にある洲本市立図書館など、レンガ造りの建物群の見学をしました。次のコースは生石公園にある砲台跡（5台ある）です。紀淡海峡に攻めてくる敵艦を沈めるために明治31年

～33年の間に作られ、大砲が備え付けられたところです。由良要塞でもある生石山砲台は明治・大正期に東京湾要塞について日本で2番目に重要な要塞の一つでした。そこでは戦時中の要塞の場所として重要な位置にあった淡路島の砲台を見ることができます。その当時の大砲等はアメリカにより破壊されたのですが、その当時の様子を想像しながらの散策となりました。そして、最後は丹下健三氏が設計された建物のある若人の広場公園に向かいました。そこは、昭和42年に建設されたもので、戦争の為に学業半ばで亡くなった男女学徒を追悼する施設です。阪神・淡路大震災の被害などで閉鎖されておりましたが、多くの再開を望む声を受け、平成25年8月に工事着工、平成27年3月に完成し、再び開園になったところです。施設としては高さ25m

藤池寛治（国際分科会委員）



の「記念塔」と周囲が石垣の壁面が印象的な「展示資料館」がありました。



建築技術講習会『これだけでわかる 建築基準法！』

日程：平成29年5月19日（金） 会場：大阪府建築健保会館・6階ホール 参加者：82名

建築士を目指す方、もう一度学び直したい方を対象とした、建築基準法を学ぶ講習会を受講しました。

講義内容の5つのテーマのうち、「概要、総則」と「一般構造、建築設備規定」を本会特任相談役でサンヨーホームズ(株)の小嶋和平氏、「防火・避難規定、構造強度規定」を日本 ERI (株)の森田大氏、「都市計画関係規定」と「建築士法、関連法規」を本会幹事で（一財）大阪建築防災センターの七堂元敏氏より講習を受けました。

当日、テキストとして配布された「図説建築法規」は、建築基準法と関連法令の要点を図表や実例を用いて解説しており、2色刷での要点表現や、各項目末尾にある対応省令番号の記載は、これから建築基準法を学ぶ初心者に優しく、建築士の受験対策としても使い易い書籍でし

た。また、最近公立校でも開校が進む、小中一貫校に対応するための児童用階段についての告示といった、新しい内容もフォローしていました。

講師の方々の要点をおさえた解説も理解の一助となりました。

平成27年6月の建築基準法改正で加えられた「特定避難時間倒壊等防止建築物」については、補足資料を用いた説明がありました。また、難解とされる防火区画、道路、容積率については特に丁寧に解説していただきました。

実例を交えた解説では、容積率による共同住宅からホテルへの転換の難しさの話がありました。昨今の宿泊施設不足という社会背景から、民泊、規制緩和といったキーワードとのつながりを感じました。東京駅（特例容積率適用地区制度）、法善寺横丁（連坦建築物設計制度）は、

松江 正（研修分科会委員）



いずれも訪れたことのある町で、イメージがわきやすかったです。

半日のタイムスケジュールとしては盛りだくさんの内容で、初心者への導入、実例の紹介、概要の理解といった点で大変有意義な講習会でした。



「図説建築法規」小嶋和平著

第9回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人 大阪府建築士会



審査委員長 古谷誠章

1955年 東京都生まれ
1978年 早稲田大学理工学部建築学科卒
1980年 早稲田大学大学院修了
1986～1987年 文化庁芸術家在外研修員として
マリオ・ボッタ事務所在籍
1994年～ 八木佐千子とスタジオオナスカ(現NASCA)共同設立
1994年～ 早稲田大学理工学部助教授
1997年～ 早稲田大学教授



建築人賞記念盾「未来へ！」
グラスアーティスト 三浦啓子作

審査総評

建築人賞審査委員長 古谷誠章

建築人賞の審査をお引き受けして四年目となりました。応募者のプレゼンテーションによる一次審査もだいぶ板について来て、とても楽しく拝聴しています。ただし何せ一人審査員のため、気を抜いていられないのが(失礼)大変で、話を聞き漏らさないように一生懸命耳を傾けています。今年もますます作品の質が充実して、最後にこれをわずかな点数に絞らなくてはならないのも、一段とツライものになってきました。それでもこれだけ工夫の凝らされた作品を一堂に会して皆さんと一緒に拝見して、さらに作者の話も聞けるのは文句なく面白いので、応募者に限らず、できるだけ多くの方にこの一次審査を見てもらいたいですね。短い時間ですから、とても説明しきれなかったと思いますが、でもやっぱり誌面のわずか一、二ページの写真では計り知れないものを感じ取ることができました。

一般建築部門では、例年のことですが多種多様なものが出てきます。またリノベーションした作品に力作が出てきたのも、今年の特徴だったと思います。一方の住宅部門も、ことしはひときわバラエティに富んでいて、これもいつものながら実地審査作品を絞るのには難渋をしました。昨年も書いたようにまるで筑波山中の四六のガマのような心境になって、汗を垂らしながらよう

やく実地に赴く作品を一般四点、住宅四点として一次審査を終えました。(これはその後に余程の美味しいものでも待っていない限り、とても果たせない難行です)

現地審査は三月三〇日～四月一日にかけて、神戸市、姫路市、東大阪市、枚方市、芦屋市、彦根市にある計八作品を訪れました。関西でも東西に離れて立地する作品群でしたが、三日をかけて予定通りに見て回ることができました。人工島あり、自然の地形あり、城下町あり、郊外ありとバラエティに富んでいましたが、今年はいわゆる都心地がなかったといえます。敷地としては周辺環境に恵まれているに越したことはありませんが、仮にそうでなくても、建築自身が敷地を良好なものへと変化させたり、またその建築が建てられることで周辺を含むその地域の環境の価値を増すことも、とても大切なことだと思います。そんな関係を見るためにも、実際に作品を訪れてみることは重要な意味が含まれています。今年もまた、現地を訪れて初めて気づかされた作品の価値にしばしば触れることができ、大変幸いに思います。とくに施主のその後の住まいぶり、あるいは建築の使いこなし方にも、大いに背かされるものがありました。建築が建って終わりではなく、むしろそこから出発点であることを改めて感じました。

来年もどうぞよろしくお願いします。

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、二〇一七年四月には第六三四号を数えました。本会会員である建築士にとって重要な情報提供を行うとともに、作品発表の機会を設け、建築技術の普及や建築士の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は、「建築人」のGALLERY頁に掲載された作品の中から機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰し、建築技術の進展、建築文化の向上に資するとともに、「建築人」のプレゼンスをさらに高めていくことを意図して創設された賞です。

●審査経過

審査は、公平性を重視するため、関西以外で活躍する建築関係者、学識経験者等をお願いしています。第六回からは早稲田大学教授古谷誠章氏を審査委員長としてお迎えしました。

今回は、二〇一六年に掲載された作品三〇点が対象となりましたが、今回も例年同様、公開一次審査を行いました。一次審査は、二月一日に開催され、計二七点の作品について設計者のプレゼンテーション、審査員による質疑等を行い、その場で八点が審査を通過しました。その後三月三〇日、三十一日、四月一日の三日間、現地審査を行い、最終的に、建築人賞二点、建築人賞奨励賞二点、佳作四点が選出されました。

入賞作品は、いずれもその機能性、デザイン性、社会性などが高く評価されたものですが、これらを表彰し公表することによって、社会に対して建築の魅力や価値を発信し、建築文化の醸成に寄与できるものと考えています。

建築情報委員会委員長 飯田英二



建築人2016年9月号掲載

建築主／学神戸学院
設計／(株)日建設計
施工／(株)浅沼組

建築位置／兵庫県神戸市
竣工年月／2016年1月
用途／高等学校
構造・規模／S造 地上4階
敷地面積／16,184.81㎡
建築面積／5,652.05㎡
延床面積／13,516.63㎡
写真／母倉知樹



【選評】
一般に人工島などの埋め立て地には、その土地に固有の地形や来歴がないために、えてして無味乾燥なものとなったり、あるいは古い市街地に比してスケールが大味になったりしがちですが、ここでは建築を、中庭を擁して囲い込むことで、外側は周辺のスケーラビリティに連続させて、内側も全体にのびのびとしたながらも、高校生の日常の生活空間に相応しい身体尺度を感じさせる巧みな構成だと思えます。圧倒的な開放感を感じさせる中庭に面する開口部は、腰から上をサッシュレスの納まりとすることで、文字通り視界を遮るものがない透明感が生まれていて爽快です。中庭自体もただ茫漠とオープンスペースにするのではなく、学年を越えて共用される図書室やホールなどを配置することで、自然に異学年のアクティビティが目に入るように仕掛けられていました。体育館の構造も大変印象的でした。



建築人2016年2月号掲載

設計／(株)石橋清志建築設計事務所
施工／(株)藤木工務店

建築位置／兵庫県芦屋市
竣工年月／2015年12月
用途／住宅
構造・規模／RC造（一部S造一部木造）
地上2階 地下1階
敷地面積／1,091.97㎡
建築面積／314.59㎡
延床面積／480.46㎡
写真／松村芳治



【選評】
六麓荘といえば、芦屋でもひときわ高級な住宅地で、事実この住宅も大変にゆとりのある裕福な住宅であるに違いはありますが、表側からの姿にしろ、内部空間の居心地にしろ、どこにも威張ったところがなく（この言い方が相応しいかわかりませんが）、とても感じよくできているのが印象的でした。しかし、ひとたび注意深くその細部を見ると、各所の金物といい、建具といい、建築の納まりといい、随所に工夫の凝らされた、一品生産ものの特注ディテールがふんだんに用いられていて、非常に（いい意味での）お金と手間のかけられた見事な建築です。近年では、およそ部分品や建築部材がコストや時間の制約からまるでスーパーマーケットの棚から量産品を買うように、もっぱら既製品から選ばれています。それらからは決して生まれない建築の質の高さと味わいを感じました。設計者の配慮と情熱が隅々まで行き渡っています。



【選評】

交通量の比較的多い道路に面したオフィスと会社の研修・厚生施設ですが、限りのある各階の面積から、あえてワン・スパン分引き込んで、前面道路との間に緩衝ゾーンを設けたことが、この建築をユニークなものにしました。層を越えて視線を誘導したり、活動を誘発したりする目論見に、よくあるオフィス内の吹き抜け空間の手法でなく、半外部のこのスペースを垂直方向に活かした点に秘訣があります。実際に訪れて初めて気づきましたが、外壁のパネル割りや、開口部の割り付けが、実に注意深く行われていてファサードに凛とした佇まいが生まれていたのも印象的です。



建築人2016年12月号掲載

建築主／(株)パイオニア
設計／大成建設(株)関西支店
一級建築士事務所
施工／大成建設(株)関西支店

建築位置／大阪府東大阪市
竣工年月／2016年3月
用途／事務所
構造・規模／鉄骨造
敷地面積／294.82㎡
建築面積／198.06㎡
延床面積／1,169.68㎡
写真／(株)エスエス 左海一郎



【選評】

彦根城にほど近い、古くからの地割りの影響を色濃く残すこの一帯に、細長い敷地の特性を活かして表と裏の二本の道を結ぶ、現代の町屋とも呼ぶべき住宅が実現しました。採光や通風を効果的に採り入れる勾配屋根と坪庭が交互に繰り返す構成は、内部空間を分節しながら繋ぐなかで巧みなもので、普通の住宅では見ることのできない、物語性を持った空間の興行きが生まれています。施主のご商売に関係する竹を原料とする様々な建材が使いこなされていますが、竹の繊細さと、ある種のまっすぐな力強さが、随所にうまくなりました。



建築人2016年12月号掲載

設計／井上久実設計室
施工／大輪建設(株)

建築位置／滋賀県彦根市
竣工年月／2016年10月
用途／専用住宅
構造・規模／木造
敷地面積／278.19㎡
建築面積／170.60㎡
延床面積／209.54㎡
写真／福田英次

建築人賞佳作
シスメックスグローバルコミュニケーションセンター



【選評】
六甲山腹の奥池に、四〇年以上たったく使用されないままになっていた元ホテルを、企業の研修所に改装したもので、そのこと自体がまず建築を独特なものにした。周辺の自然環境が素晴らしいのは当然にしても、それをまったく新しい方法で活かすために低層棟を配置し直し、池の景観を十二分に採り入れるなど、大胆な「手術」が奏功しています。さらに、従前は建屋の裏側に過ぎなかった山側の斜面にも積極的に開口部を設けて、伸びやかな研修室が実現しているのも優れた目利きの技だと思えます。

建築主／シスメックス(株)
設 計／鹿島建設(株)関西支店 建築設計部
施 工／鹿島建設(株)関西支店
建築位置／兵庫県芦屋市
竣工年月／2015年3月
用 途／宿泊機能付研修所
構造・規模／RC造
敷地面積／33,399㎡
建築面積／2,914㎡
延床面積／5,051㎡
写 真／松村芳治

建築人賞佳作
ネットトヨタ枚方



【選評】
カーディーラーのショールームと言えば、街道に沿って大きな看板と間口一杯の大きな全面ガラス張りとはぼ相場が決まっているように思えますが、このショールームはひと味違います。アイコンとしてのインパクトは十分持ちながらも、内部空間に入ったときの居心地の良さは、あたかも良質なドライブレレ스토랑にでも入り込んだかのように、通常のものとはまったく違った次元にあります。平面図で見るとその奥行き感の秘密が「ハの字」に開かれた壁の配置にあることがわかりますが、実際に訪れた人々にはそれに加えて、前面のガラスに腰までの立ち上がりがあることの効果が大きいと思います。

建築主／トヨタカローラ新大阪(株)
設 計／(株)竹中工務店
施 工／(株)竹中工務店
建築位置／大阪府枚方市
竣工年月／2016年3月
用 途／ショールーム
構造・規模／S造
敷地面積／1,882.25㎡
建築面積／984.82㎡
延床面積／1,165.82㎡
写 真／井ノ口洪太

建築人賞佳作
辻井の家



【選評】
かなりの急傾斜の造成住宅地に建つこの家は、道の反対側にある斜面上の緑を借景にするために、家族の生活の中心となるフロアを上層にまとめ、独立した家型として浮き上がらせてあります。室内やデッキなどの床レベルにも微妙な段差が組み込まれ、外の視界も様々に変化します。一方で地面に近い下の階では外部からは隔絶されたプライベートが守られており、その上下の対比が生活リズムと開放感のメリハリを生み出しています。方位や方向、傾斜ともに一筋縄ではないかない敷地の制約を巧みに味方にしていて、またそれを大いに楽しんでいるように見受けました。

設 計／大西憲司設計工房
施 工／(株)アトリエ・エイト
建築位置／兵庫県姫路市
竣工年月／2015年12月
用 途／専用住宅
構造・規模／木造(在来工法)
地上2階
敷地面積／267.26㎡
建築面積／125.21㎡
延床面積／190.17㎡
写 真／福澤昭嘉

建築人賞佳作
SIT



【選評】
この家の特徴はなんといっても写真家である施主と建築家とのコラボレーションの妙にあります。表からはどちらかと言えば寡黙な、さりげない表情に仕上げられています。一旦内部に入ると世界は一変し、あちこちに組み込まれた施主の「デザイン」が建築というギャラリーに置かれた作品のように現れて、とても愉快な感じがしました。外からは小さくまた少なく感じられましたが、中から見るとそれぞれに額縁に入れられた絵のように見えて、気が利いています。どちらかと言えば無口な妻面の脚下で生き生きとして見える庭との対比もまた、この家の個性を物語っているようです。

設 計／(株)マニエラ建築設計事務所
施 工／三幸建設(株)
建築位置／兵庫県神戸市
竣工年月／2015年10月
用 途／専用住居
構造設計／土屋設計
構造・規模／木造
敷地面積／190.96㎡
建築面積／68.73㎡
延床面積／137.20㎡
写 真／松村芳治



大阪市営地下鉄平野駅に隣接したJA店舗である。
 全自動型貸金庫を備えた金融・保険業務スペースに地元
 産野菜を中心とした直売所を併設している。地域密着都
 市型JAとし金融スペースは木目を活かしたロビーとし、
 直売所はバリのマルシェをコンセプトに温かみを演出し
 た。壁面はカーテンウォールとタイルのコンビで角度を
 つけてあり、左を金融スペース、右をマルシェと入口を
 分ける事でそれぞれのポジショニングを明確にしつつ、
 視線が両店舗内に届くため、利用者を相互に誘導する事
 によりシナジー効果を生み出す。底は巨大なアールの階
 段状、床のタイルも放射状とした。この特徴的なエント
 ランスが地域のランドマークになることを期待する。

(大石隆洋)

所在地：大阪市平野区
 用途：金融店舗・直
 売所
 竣工：2017.06
 構造規模：鉄骨造2階建
 敷地面積：899.00㎡
 建築面積：681.69㎡
 延床面積：1,193.37㎡
 写真：砂田政樹





計画は研究開発機能をさらに充実するため、製造拠点が、顧客に近い大阪地区に研究開発拠点を設置したいという要望からスタートしている。研究開発活動は、危険を伴う実験もあり、視覚的にスタッフの動きを常に把握することが安全上最も重要視された。シャフトスペースを分散配置し、残った壁面は最大限透明にすることで、視認性と安全性を確保した。実験の内容や共働メンバーの変化があるため、フリーアドレスが採用され、様々に設えられたワークプレイスを選びながら働くことができる。そこでスタッフ同士のコミュニケーションが誘発・活性化され、研究開発の効率をより良いものにしていくことが意図されている。

建 築 主：宇部興産株式会社
所 在 地：大阪府堺市
用 途：研究開発及び試作
竣 工：2016.07
構造規模：S 造 3 階建
敷地面積：462.983㎡
建築面積：1,608㎡
延床面積：3,769㎡
写 真：エスエス大阪



10名の入居者と施設職員の生活拠点となる建物である。外観は大屋根を中央に配置した分節構成とし柔らかな色調の外壁を採用し自然が多い周辺環境に溶け込み、親しみを感じさせるものにした。食堂は勾配天井で高窓を設け、気持ちの良い光が差し込む空間にした。又、開放的なサッシを通じて食堂とテラスとの一体化を図り、施設の行事や菜園作業など多様な活動を通して入居者の自立を促進すると共に地域の方との交流の場となっている。個室は収納を隣接する2室に1ヶ所とし、それぞれの個室から使えるようスペースの効率化を行い、天井を一部勾配にして高窓を設け、自然光で明るい環境となるよう考慮した。（樋上雅博・榎明日香）

建築主：社会福祉法人
大阪府肢体不
自由者協会
所在地：大阪府交野市
用途：障害者福祉施設
(障害化調整区域・開発許可制)
竣工：2017.05
構造規模：木造1階建
敷地面積：1,090.61㎡
建築面積：368.63㎡
延床面積：357.04㎡
写真：フォトスペース

第10回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 古谷 誠章（早稲田大学教授）



1955年 東京都生まれ
1978年 早稲田大学理工学部建築学科卒
1980年 早稲田大学大学院修了
1986～1987年 文化庁芸術家在外研修員として
マリオ・ボッタ事務所在籍
1994年～ 八木佐千子とスタジオナスカ（現NASCA）
共同設立
1994年～ 早稲田大学理工学部助教授
1997年～ 早稲田大学教授
本年度より建築人審査委員長

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞（賞状と記念盾）

建築人奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には感謝状授与

■ 第10回 対象作品

「建築人」2017年1月号から2017年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

■ 審査方法（2段階審査・予定）

一次審査 建築人誌面、公開プレゼンテーションにより選定

二次審査 現地確認により選定

■ 受賞発表

建築人 2018年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2017

会報誌『建築人』では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

モノクロ 2ページ 10万円

モノクロ 1ページ 5万円

※モノクロページは住宅に限ります。

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会『建築人』
Gallery 建築作品掲載係まで。

今年五月十六日、「世界平和記念聖堂を起点に」と副題を冠した広島市現代美術館の「村野藤吾の建築」展の開会式へ出席した際、以前から一度は見えてみたいと思ひ、立ち寄ったのが、旧・広島陸軍被服支廠と呼ばれるレンガ倉庫である。美術館の建つ比治山から南に約八〇〇mの所に位置する。訪れると、東側の広島県立広島工業高校と西側の道路に挟まれた狭い路地に面して、レンガ壁の長大な建物が見えてくる。西側に三棟、南側に一棟がL型一列に並び、総延長は五〇〇m近くにもなる。緻密なレンガ壁と黒い瓦屋根、細部に装飾を施された堂々としたたたずまいに只々圧倒される。敷地沿いのブロック塀には、「被爆建物」と表示された広島市の説明版があり、そこには、爆心地から二六七〇mにあったこの建物が原爆にも耐え、被爆直後は臨時救護所になり、避難してきた多くの被爆者が次々と力尽きていったこと、爆心地方向に面していた西側の鉄扉は爆風で変形した痕跡をとどめていることが簡潔に記されていた。

被服支廠とは、軍服や軍靴などの製造や修理、保管、供給するところで、一八九四年の日清戦争以降、大陸への軍事拠点として発展していった軍都・広島近代史を象徴する施設である。竣工したのは一九一三年、東京駅（一九一四年）の前年になる。それでも、軍事施設として要請されたのだろう。鉄骨レンガ造の東京駅とは異なり、当時としては先駆的な鉄筋コンクリートとレンガを併用する構造体で壁は造られ、独立柱や梁、床板や屋根も鉄筋コンクリート造になっている。たしかに、説明版にも記されたとおり、鉄扉のいくつかが爆風によって変形していたが、頑丈な鉄筋コンクリートの構造体は、原爆に耐え抜いたのだ。

その事実を今に伝えていることから、この建物の現存することの意味が実感できる。現在は空き家だが、戦後、しばらくの間は、西側三棟は日本通運の倉庫、南側一棟は広島大学の学生寮として利用されたという。この建物の存在をはじめて知ったのは、山下和也、井手三千男、叶真幹による共著の『ヒロシマをさがそう―原爆を見た建物』（西田書店二〇〇六年）を、編集を手がけた松山巖さんから贈られたことがきっかけだった。「ヒロシマを想像してほしい」と

と人間、そして残された者たちの苦しみ、悲しみ。この被爆体験を次の世代は、どのように継承してゆくのだろうか。」三人の筆者は、原爆の記憶を次世代へ伝えるための「道標（みちしるべ）」として、「原爆を見た建物」＝被爆建物に注目し、それを記録するために、現地調査や資料調査、聞き取り作業を長年にわたって推し進め、この本をまとめたのだという。そこには、近い将来に被爆者が一人もいなくなること

記憶の建築

松隈 洋

旧・広島陸軍被服支廠 1913年
東京駅よりも古い被爆建物の今



西側の道路から見る外観



南側の外観

題されたその序文は、次のように始まる。

「一発の爆弾で、広島は廃墟となった。

あれから六〇年、情報の渦の中であらゆることの忘却が日常となった日本社会において、被爆者の忘れることができない体験は、戦争を知らない若い世代の心に今も響いているのだろうか。

被爆者がいなくなったとき、原爆の記憶を後世に伝える力は残されているであろうか。原爆によって徹底的に破壊された都市

への強い危機感が共有されていたに違いない。序文は次のように続けられる。

「なによりも被爆者とともに、原爆を体験したのは数多くの建物そのものである。

広島を訪れたあなたは、被爆時に存在した建物を探し、往時の場所に立つことがでさる。周囲の風景はすっかり変っている。それでもこの建物は、いつ、何のために、どんな意図で建て、どのように使われていたのか、と想像することはできる。（中略）

例えば、原爆ドームはチェコ人が設計した広島島の土産を陳列する建物であったこと。路面電車の路線は被爆前とはほぼ同じで、被爆した電車の二両は今なお現役で使われていること。

戦前に架けられた橋の多くは華やかな装飾が施され、原爆に耐えた橋は被災者が逃れ、家族を捜すルートとなったこと。

これらの事を伝えることによって、残された建造物の意義はより深くなるはずだ。」

そして、この被服支廠は、すぐ南の隣町で被爆した峠三吉（一九一七―五三年）が一九五一年に自費出版した『原爆詩集』（岩波文庫）の中で、「倉庫の記録」と題された詩として、次のように綴られたのである。

「その日

いちめん蓮の葉が馬蹄型に焼けた蓮畑の中の、そこは陸軍被服廠倉庫の二階。高い格子窓だけのうす暗いコンクリートの床。そのうえに軍用毛布を一枚敷いて、逃げて来た者たちが向きむきに横わっている。」

二〇一四年に、『もしも建物が話せたら』というヴィム・ヴェンダース監督が総指揮したオムニバス映画が公開された。そうした映画が作られるのも、建築はただ無言でそこに存在するしかないからだ。しかし、言葉と想像力を尽くすことによって、建築は多くを語り始める力を持つのだと思う。

この被服支廠が、さまざまな困難を乗り越えて、記憶を未来へとつなぐ場所になってほしい。そう願わずにはいられなかった。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

近年木材利用の促進もあり、中・大規模建築物でも木質構造が選択肢として挙げられるようになりました。今回は竹中工務店設計部・須賀順子さんに、普段 RC 造や S 造を手掛ける設計者が木質構造に取り組む際の留意点をご紹介します。

木質材料を構造材に取り入れる

須賀 順子

京都市生まれ／1994 年 ㈱竹中工務店入社、現在に至る。同社大阪本店設計部所属／2005 年に伝統木造の神社本殿の免震改修の設計を担当したことをきっかけに、S 造や RC 造に加えて木質構造の構造設計も担当するようになる。最近では木質パネルの耐震補強壁で RC 造建築物を耐震補強する T-FoRest® Wall の開発にたずさわった。柔軟な発想で木質材料を使うことの重要性を感じているところである。(耐震補強技術 T-FoRest® シリーズにて 2017 年エコプロダクツ大賞国土交通大臣賞受賞)

1. はじめに

日本では厳しい防耐火の基準のもと木造建築物を制限してきたため、特に都市部の木質建築物が少ない。その一方で二〇一〇年に公共建築物の木質利用促進法が制定されるなど、国を挙げて木質建築物の推進が行われ出した。これをうけて都市部でも木質構造の建築物を推進する流れにあり、構造技術者が木質構造に取り組む機会が増えてきたが、S 造などとの違いに戸惑うことが少なくない。ここでは、特に最初に戸惑うであろうポイントについて解説したい。紙面の都合から多くの参考図書に解説されていることには触れない点にご注意いただきたい。また、木造を中心に設計活動をされている方には退屈となる内容をご容赦いただきたい。

2. 防耐火性能

建築物の要求耐火性能は、木造に限らずその規模と防火指定地域によって、図 1 のように決められている。加えて、特殊建築物はその規模によって要求性能が定められている。現在では大臣認定を取得した二時間耐火の木質柱・梁が入手できるようになり、都市部での木造建築物の可能性が広がりつつある。一方、準耐火建築物の場合には俗にいう「イ準耐^{※1}」として燃え代設計を行うことで、また、「ロ準耐^{※1}」では外壁を耐火構造とすることで、木質構造を準耐火建物とできる。ただし、内装制限がある建物部位では、面積の大きい木質耐震壁などは耐火ボードなどで覆う必要がある。現状では木質構造による耐火建築物は、S 造よりも割高になる傾向にある。構造設計の立場から木質構造の提案を行う場合に

は、これらに注意する必要がある。

3. 構造設計手法と木質材料

建築基準法に基づく木質建築物の構造計算のルートは、六〇m 以上の高層建築物を除いて、主に表 1 に示す三つの計算方法が使われている。計算方法によって無等級材の使用の可否が決まる。特に、伝統木造建築物では、構造用製材がそのまま化粧材である場合が多く、樹種を限定することで JAS 材が入手できない場合がある。壁量計算や限界耐力計算を採用して無等級材を用いて設計するのが一般的である。S 造との違いは、設計手法により採用材料に制限があることである。

4. 木質材料の選び方と乾燥・調達

木質材料は主に構造用製材と、図 2 に示すエンジニアリングウッドの集成材・合板・LVL・CLT がある。これらの材料は日本農林規格(以下 JAS)によって規格化されており、強度区分や製造方法などが定められている。JAS に適合していることで建築基準法三七条の指定建築材料とみなされる。

JAS 材の中から使用材料を決める場合に戸惑うこととして、等級数が多いことが挙げられる。例として表 1 にスギ材の機械等級の特性表を示す。E50～E150 まで六等級ある。しかしながら、地域性もあるが、スギの場合は E70 が最も入手しやすいなど、樹種によって入手できる等級は通常一つ二つに絞られる。したがって、鉄骨部材の設計のように、応力的な理由で S S400 から S M490 に強度を上げる設計はほぼ行わない。

樹種決定に際しては、入手可能な材料の情報が一元化されていない点やや難

計算方法	無等級材	JAS 材	主な用途
壁量計算	○	○	延べ面積が 500m ² 以下の住宅等
許容応力度等計算	×	○	全般
限界耐力計算	○	○	伝統建築

表 1 計算方法と木質材料

樹種	等級	基準許容応力度 (N/mm ²)				基準弾性係数 (kN/mm ²)		
		fc	ft	fb	fs	E ₀	E _{0.05}	G ₀
すぎ	E50	6.4	4.8	8.0	0.6	4.9	3.9	E ₀ /15
	E70	7.8	5.8	9.8		6.9	5.9	
	E90	9.4	7.0	11.6		8.8	7.8	
	E110	10.8	8.2	13.6		10.8	9.8	
	E130	12.4	9.2	15.4		12.7	11.8	
	E150	13.8	10.4	17.2		14.7	13.7	

表 2 すぎの構造用製材の日本農林規格 機械等級製材の繊維方向特性値

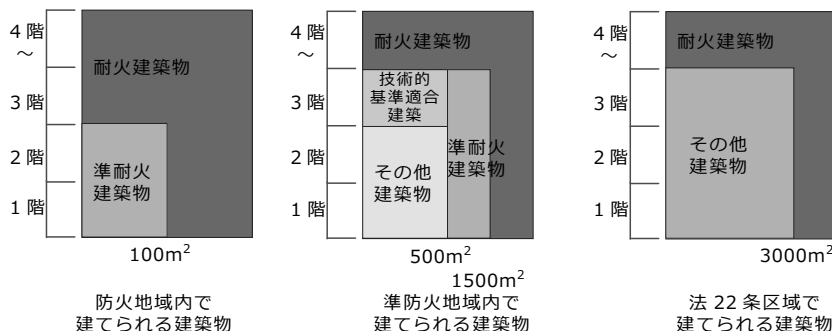


図 1 防火地域指定による要求耐火性能



写真2 T-FoRest® Wall でRC造建物を耐震補強・内装木質化した事例
(武庫川女子大学文学2号館教室)



写真1 大断面製材の打撃法によるヤング係数の測定風景
スパン7mの梁のヤング係数を確認している。

しく、樹種を選ぶ際にはメーカー、製材会社、大工職などに相談して入手可能な材料をリサーチした上で、決定することになる。例えば、メーカーAではベイマツの集成材が入手しやすいとか、製材会社Bでは持ち山から伐採したスギ材を別のJAS工場で集成材を製造することができるといったことをよく耳にする。これらの流通経路を一元的に示したものは存在しない。これが、工業製品である鉄骨と、林産材料の木材の大きな違いである。

もう一点気を付けたいのは、木材は伐採してから乾燥させるまでに一定の時間がかかる点である。伝統木造などで大断面の製材を用いる場合には、市中の在庫から入手するか、伐採して数年かけて自然乾燥や機械乾燥するなど、調達や乾燥の工程が設計や施工の工程に影響を与えるため、あらかじめ工程に含めることが重要である。

5. 特記仕様と品質管理

公共建築工事標準仕様書には、木工事の構造材料の記述が無いことも意外に知られていないのではないだろうか。一般的には、国土交通省官庁営繕部の公共木造建築工事標準仕様書や住宅金融支援機構監修の木造住宅工事仕様書が用いられている。図面に掲載する特記仕様書は、(一社)日本建築構造技術者協会が公開しているものが参考になる。

また、材料の管理では、鉄骨材をミルシートで管理するのと同様に、JAS材では出荷証明書で管理する。この時、JAS材であることで含水率や強度が保障されることになる。無等級材の場合には、含水率の測定を行い、必要に応じてヤング係数の測定を行うことで強度を確認する

ることもあり、この部分は設計者が必要に応じて検査内容を決定していく必要がある(写真1)。

6. 木質材料の部分利用の勧め

建築物全体を木質材料で構成するCLT構造の告示も施行されたが、接合部の評価や、遮音や歩行振動など課題もあり、現在研究が進められている。住宅以外でのオール木造の建築物のハードルが高い場合には、部分的に木質構造を採用するとアプローチしやすいのではないかと考えている。例えば、耐震要素はRC造として、長期部材の間柱のみに木質材料を採用する、平面混構造、または下層をRC造、上層を木造とする立面的な混構造もある。少々手前味噌だが、RC造建築物をCLTやLVLの耐震壁で耐震補強するT-FoRest Wall工法を開発しオープン化した(図3)。これも混構造の一つであり、学校建築では現して使うことで内装木質化もできる(写真2)。

また、木質構造は「加工がしやすく、短工期で施工できる」という大きな利点がある。「現し」にこだわらず、隠れることを前提に木質材料の使用を検討すれば、より広範囲での使用が期待される。

7. まとめと今後の課題

木質構造を初めて設計する際に知っておくとハードルが下がるポイントを説明した。木材の入手経路やコストへのアクセスがもつと整理されれば、木材の使用率が高まると考えられる。また、今後は木質材料の耐火技術のさらなる開発が期待される。

*1 法二条九号の三イに示される準耐火構造
*2 法二条九号の三口に示される準耐火構造



図3 RC造建物の木質パネルによる耐震補強 T-FoRest Wall

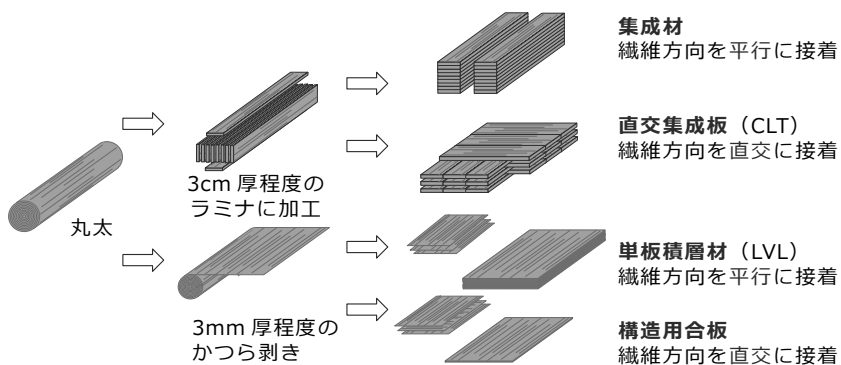


図2 主なエンジニアリングウッド

建築士賠償責任 補償制度（けんばい）

平成26年改定

新たな2つの補償

補償内容の拡大の声に答えて誕生した、新しい「けんばい」

これまでの「けんばい」では、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」のない場合には、原則として補償されませんでした。例えば、構造計算ミスにより建築物が建築基準法に達していなかった場合に、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」が発生していなければ保険の対象外でした。

平成26年4月より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害に対応できるように改定することに致しました。

改定のイメージ

起 因 ・ 設 計 ・ 監 理 ・ 補 償 責 任	滅失・破損 あり		↑ 従来の けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
		建築設備が著しく機能を発揮できない場合の補償 (給排水設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)		
	滅失・破損 なし	法令基準未達補償 New ※補償対象外とすることも可能です。		
		構造基準未達補償 New		オプション

新たに追加された2つの補償

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「建築基準法第20条1、2、3号建築物の構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

※建築士賠償責任補償制度（けんばい）の改定についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階 TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067

<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

設計・監理リスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

登録者募集

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 立間まで
06-6947-1961 tatsuma@aba-osakafu.or.jp

■家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせ

住宅を設計する
JUTAKU NAKAMA
トップページ
仲間達とは

- ① 住宅を設計する
- ② 建築士に任せるメリット
- ③ 建築士に任せる流れ
- ④ 具体的な流れ
- ⑤ まんが 〜家作りストーリー〜
- ⑥ 土地の選び方
- ⑦ 住宅ローンについて
- ⑧ 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何？

知らせ

- お知
- パネル展示 & セミナー
3月6日
 - 「建築家をつくる」
 - パネル展示
 - 「建築家をつくる」
 - パネル展示 & セミナー

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼る建築士選びから。

に対して、たくさんの想いをお持ちの方こそ 歓迎します。自衛隊の生活は自分達でつくっていく。住まい手であると同時に、つくり手を担う。そんな住まい手の住宅づくりのお手伝いができたらと考えます。住まいを創り上げていくプロセスをいっしょに楽しみましょう。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。
風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりとって心地よく癒される住まい
を「聲でおしなれ」に“デザイン”させていただきます。
吟味した杉で体がよくなる空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元氣
に健康で安全で安心して暮らせる家をつ丁寧ににつくらせて頂きます。

「マイホームを建てるなら、なんでも相談ください」

当サイトでは、作品集や住宅設計の無料相談などのご案内および設計する仲間達への連絡の要請が専用サイト内、作品集設計事務所などの検索機能から簡単に行えます。これから家づくりの方、家づくりに興味の方は、ぜひ私たちにご相談ください。

6927 - 1051
.. 06 6927 1052
e-mail n-office-v@estate.ocn.ne.jp

暑中見舞 2017

大阪府建築士会役員

見える社会貢献活動へ

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区博労町1-7-16
(CSTビル)

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スミタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
TANATOSHI Osaka 大阪市中央区本町橋5-14
(OZビル本町橋902)
TANATOSHI Tokyo 東京都大田区上池台1-7-16-218

暑さに負けず、頑張りましょう。

濱田 徹

株式会社 イリア
大阪市中央区城見2-2-22
(マルイトOBPビル9F)

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン
宝塚市武庫川町4-3-711

尾鍋 裕実

尾鍋建築設計事務所
藤井寺市小山9-11-17

大阪建築界の活性化のため頑張ろう！

人にやさしく

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市北区西天満6-3-11-205
大阪・東京・兵庫・滋賀・九州

沼田 亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

森田 茂夫

アトリエ クレオ

暑中お見舞い申し上げます。

山城 健児

コーナン建設株式会社
大阪市北区大淀南1-9-10

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

暑中見舞 2017

建築設計事務所

暑中お見舞申し上げます

人、社会、地球環境との共生

宇澤 善一郎

ア ト リ エ ・ U
和泉市池田下町1699

奥村 雅一

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町3-3
(日本生命梅田ビル)

金峰 鐘大

株式会社 IAO 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

夢ある未来の創造

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

西村 清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

阿波野 昌幸

近畿大学建築学部
東大阪市小若江3-4-1

亀井 忠夫

株式会社 日 建 設 計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

佐野 吉彦

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

建設会社



竹中工務店

取締役社長 宮下 正裕

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000



大成建設

For a Lively World

専務執行役員関西支店長 金井 隆夫

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

ナイスジョイント

ステンレス製=給水・給湯・冷温水配管用管継手

ISO9001
ISO14001
認証取得

オーエヌ工業株式会社

代表取締役社長 中村 政弘

■本社・工場 〒708-0011 岡山県津山市上田邑3235-2
TEL (0868) 28-0171(代) FAX (0868) 28-4254

Hyper-MEGA, Hyper-ストレート, HBM工法
NAKS, RODEX工法



日本コンクリート工業株式会社

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目6番14号(NC芝浦ビル)
基礎事業部 ☎(03)3452-1081 FAX(03)3452-1125
大阪支店 〒542-0081 大阪府中央区南船場4-11-28
☎(06)4963-6911 FAX(06)4963-6916
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-11-5(エスポート名古屋ビル)
☎(052)581-0666 FAX(052)541-2530
四国支店 〒760-0022 香川県高松市西内町4-6(神原ビル)
☎(087)897-2984 FAX(087)897-2986

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルドE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 北村 克己

大阪支店: 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)

本社: 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

水の未来・地球の未来

グリース阻集器の・・・



PUREPAI工業株式会社

本社・工場 京都府京田辺市大住池嶋25 東日本営業所 神奈川県川崎市中原区中丸9-431
〒610-0343 TEL 0774-63-7247(代) 〒211-0012 TEL 044-431-0408(代)
FAX 0774-63-7248 FAX 044-434-2621
<http://www.purepai.co.jp>

一般社団法人 大阪電業協会

会長 前田 幸一

〒530-0047
大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 井上 一朗

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<http://www.gbrc.or.jp>

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071

一般社団法人 日本建築材料協会

会長 立野 純三

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348

支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp>

暑中見舞 2017

建材・設備会社 他

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 古新亮英

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校

OHSU 大阪保健医療大学

OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>



一企画から印刷までトータルにクリエイトしますー

株式会社 日報印刷

代表取締役 井上 務

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-16-7 TEL.(06)6445-6888

中和「新しい」をご提案します! 少量から注文承ります



ネットショップ営業中! 中和印刷 検索

CHUWA 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

理事会報告

文責 本会事務局

日時 六月二十一日（水）十六時～十八時
場所 本会会議室

出席 理事三名 監事一名

（１）本会活動の拠点となる事務局の会議等の環境を整えるために、本ビル隣室を七月一日より借室することを承認しました。小規模講習も実施するなど委員会活動の活性化及び収益増のために有効に活用します。

（２）平成二十七年に制定した耐震部会運営規程について、耐震業務内容の妥当性を第三者が評価・検証する条項等を明記する改正案を承認しました。

（３）大阪の住まい活性化フォーラムを主催する府から、「中古住宅リフォームコンクール」を、空家対策の促進に繋がる事例を評価する「空家リノベーションコンクール」に再編して本会にコンクール事務局の委託を行いたいとの依頼があり、受入れることを承認しました（但し、府は複数団体に打診して検討中です）。

（４）本年度実施予定の大阪府住宅省エネルギー設計技術講習会（設計者向け）の運営について、大阪住宅センターから受託することを承認しました。

（５）修成建設専門学校からの本会との「職業教育に係る事業連携協定」を締結する申出を承認しました。

（６）大阪急性期・総合医療センターと大地震時における病棟等の応急危険度判定士派遣に関する協定を締結することを承認しました。

（７）大阪府不動産鑑定士協会と不動産の状況調査や鑑定業務等相互協力に関する基本合意を交わすことを承認しました。

建築相談室から十五

原因は必ずあるはず

文 橋本頼幸

建築相談は話を聞きながらすぐに原因がイメージできる場合もありますが、ほとんどがそうではありません。相談者の話をできる限り聞き出しながらも、最終的には「行かないとわからない」という結論になることもよくあります。特に設備に絡んでくるところは、目に見えないところが多いだけにそうなりがちです。

喫煙室にいるような臭い

新築の鉄骨二階建ての単身者向け賃貸住宅に、このほど二階に同居した学生から、「室内が常に禁煙室にいるような臭いがする。管理会社に相談するもどうしようも無いと言われる。良い方法はないのか？」との相談。たばこの臭いは苦手な人にとっては敏感に感じるものです。喫煙されている車やホテルの客室でも、たばこを吸わない人は臭いを感じます。室内でたばこの臭いがするということは、どこかに必ず原因があるはずです。

たばこの煙はどこから？

電話や面接での相談で聞き出せるのはこの程度ですから、ここからは想像力で原因を絞り込んでいかなければいけません。相談者は喫煙者ではないでしょうから、臭いの原因は部屋の外、つまり外部か廊下、両側の居室、二階居室などが疑われます。両側直下の居住者が喫煙者かどうかもわかりませんが、隣や下階の住戸の排気ファンと相談者の給気口が近接して流入している可能性が考えられます。ただそうだとすると、相談者でも管理会社でも容易にわかりそうです。そうでないとすると、相談者宅の給排気バランスが悪く、給気不足で内が負圧になり、間仕切り壁や上下階の貫通部など

のすきまから隣戸の煙が入ってきた可能性が考えられます。そうなるにせよ電話ではわかりませんので、風速計や微少な空気の流れを確認するために線香などを持って現地に行くことになるでしょうが、現地相談ですぐに原因を特定できるかはわかりません。場合によっては本格的な調査になる可能性もあります。敷地の陥没を何度も繰り返す

分譲マンションの管理会社から「管理しているマンションで敷地の一部が何度も陥没をする。組合から専門家に見てもらって欲しいとの要望を受けて電話をした。」という相談がありました。敷地の陥没を何度も繰り返すとなると、給排水系統の水漏れにより、埋め土が流出して発生することをまず疑うでしょう。加えて、地下水や雨水・隣地からの流水などによつて、土が削られる事例もよくあります。設備の問題なのかそれ以外に問題があるのか非常に難しい案件で、半日二日の目視を中心とした本会の現地相談では原因にたどり着くのは非常に困難であると考えます。マンション維持管理支援分科会・鑑定業務支援分科会などに振って担当者当てて一般的な調査案件として取り扱った方がいいかと思います。一方で調査は当該場所を掘り返すなどの大がかりな方法が必要になることも想定しておく必要があります。費用に見合った効果が得られるか？

電話相談だけでは建物や敷地の状況が共有できず会話から得られる情報をたよりに原因をたぐっていくのは困難です。建築設備が絡むとたちまち考えられる原因の選択肢が増え、調査方法も複雑になります。調査にかかる費用と得られる効果のバランスで調査をするかどうか決まるため、相談者に費用やリスクを含めた十分な説明が求められます。

編集後記

橋本頼幸

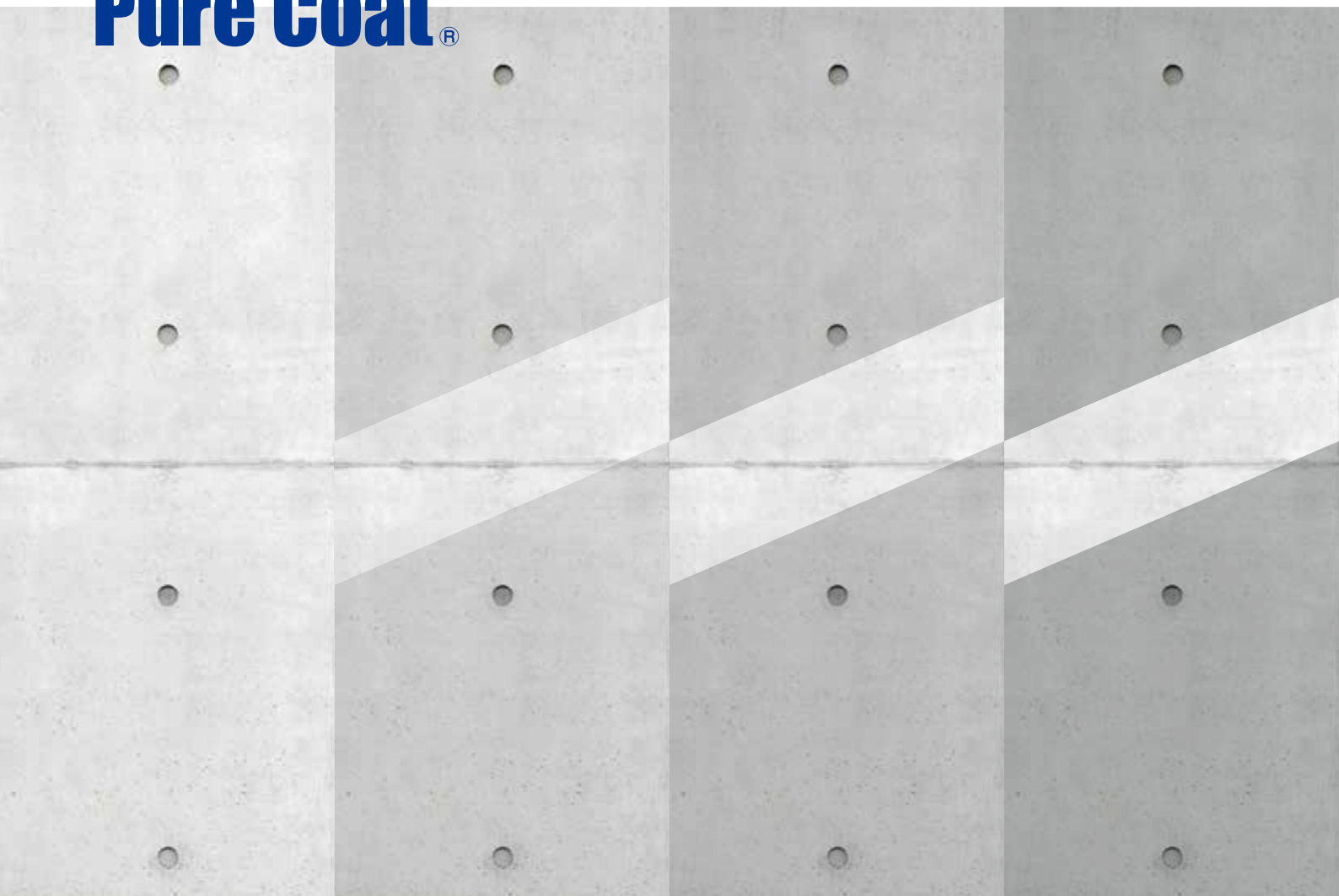
建築人に連載中の「ひろば」は、「今、自治体のアツイところ」と題して大阪府内の全自治体において寄稿を頂きこれまで掲載してきました。お気づきかも知れませんが、本号は掲載されておりません。平成二十六年九月の「大阪府」からはじまり、先月の千早赤阪村まで三十四回にわたり連載しました。今月と来月はお休みをいただき、残り四市町に執筆をお願いして一旦終える予定になっております。大阪府下の自治体がどんなことに取り組んで、何をしようとしているのか、建築士や建築士会に求めることも書いて下さい、とお願いをし取り組んで来ました。第二ラウンドスタートに向けて自治体に何をどのような形でお願いするか、鋭意企画中です。

この編集後記の上に建築相談がありますがこの連載は平成二十四年七月から私が執筆を担当しており、今月で丸五年、六十回を迎えます。私はもともと建築相談分科会から建築人編集に参加することになり、そのまま建築相談を担当し、ひろばを担当するようにになりました。昔のことは詳しく知りませんが、会報誌の編集は各委員会や分科会から担当者が集まって作業をしていたと聞きます。

「建築人」は建築士会員の他に行政、大学、弁護士など方々に発信されています。建築士がどんなことを考えているのか、また建築士はどんな風に見られているのか、建築人の編集に携わることで見えてきます。編集作業は大変ですが、得られるものも多くあります。建築士としての思いを発信したい方、是非ご一緒しませんか。

光と水のEconology

Pure Coat®



“見えない”が見えてくる。

ピアレックス・テクノロジーズが世界唯一の技術で光触媒とフッ素樹脂を

組み合わせたコーティング材「ピュアコート®」は、光と水の力で

外壁の汚染を防止・分解し、耐候性を高めます。

その効果はすぐには見えないけれど、時を経るごとに確実に見えてくるのです。

また、コンクリート外壁において、新築時のきれいな状態を維持するのはもちろん、

すでに劣化していても新築同様によみがえらせる施工が可能。

私たちピアレックス・テクノロジーズは、高い技術力で

建物をいつまでも美しく守る最適なソリューションをお届けします。

“メーカー”の枠を超えた高度な施工。

改修 ▶ G-PFシステム® | 打ち放しコンクリート調描画工法光触媒コート仕上げ

老朽化した打ち放しコンクリート外壁を新築同様に再生。長年培った汎用性フッ素樹脂の技術を応用し、これまでほぼ不可能とされてきた技術を実現しました。

新築 ▶ N-RCシステム | フッ素樹脂光触媒クリアー仕上げ

独自の外壁コーティング材「ピュアコート®」を使用し、コンクリートの風合いをそのままに濡れ肌を防止し、その美観を長期間維持します。

※「ピュアコート®」、「G-PFシステム®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

〔本 社〕 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14
Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

〔東京営業所〕 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-45-9
ヤマナカヤビル6F
Tel:03-5940-6075 / Fax:03-5940-6076

〔中部営業所〕 〒509-5301 岐阜県土岐市妻木町1674-1
Tel:0572-58-3166 / Fax:0572-58-3167

www.pialex.co.jp

 **PIALEX TECHNOLOGIES**



つつじヶ丘の家 柳川賢次建築設計事務所

本計画地は、開発されて三十数年が経った閑静な住宅地に位置する住宅の建替計画です。敷地は、北側にバス道を有する幅員16mの幹線道路と、南に幅員6mの道路に接しています。クライアントから求められた事は、この二つの道路からの視線の考慮と、子供の感性を刺激する仕掛けを創ることでした。多くの住宅がそうであるように、南側に庭を設け、北側に建物を建てるような一般的な考え方ではなく、2階建ての建物を敷地の中央に設け、1階部分の床面積の1/3を切り抜き、二つの道路をつなげました。切り抜かれた開口部は北側の街路樹を借景としながら、アプローチと駐車スペースとしての機能を果たしています。この開口部は単調な住宅街に視線の抜けを創り出し、開放感を与えると共に、この街の地勢を感じることに寄与しています。内部については、1階には生活に必要な最小限の固定された機能を与え、2階にはエントランスとキッチン、そして機能を限定しない広間(ユニヴァーサル・スペース)を設けました。また、広間の南に設けたデッキスペースは、外観を構成する壁と一本の樹木で囲まれ、プライバシーを守りつつ、街と程よい距離感を保ちながら、光と風を享受することのできる空間を創り出しています。この広間やデッキスペースは、食事ももとより、家族の団欒や接客、ホームパーティー、そして季節の移ろいを感じられるプレイスペース等々として、いかようにも対応できる一室空間となっています。

撮影：浅田美浩 第61回大阪建築コンクール大阪府知事賞受賞作品



■プロフィール

柳川賢次 (やながわ けんじ)
 1954年 大阪府生まれ
 1977年 大阪工業大学工学部建築学科卒業
 1977年 瀧光夫建築・都市設計事務所入社
 1978年 大阪工業大学工学部建築学科
 増田研究室研究生
 1983年 一級建築士事務所 柳川賢次建
 築設計事務所開設
 1988年 有限会社 柳川賢次建築設計事
 務所設立・代表

■建物データ

設 計：柳川賢次/柳川賢次建築設計事務所
 構造設計：国友博司/日本構造設計
 施 工：フナビキ工務店
 所 在 地：神戸市垂水区
 用 途：専用住宅
 竣 工：2013年11月
 構造規模：コンクリート造+木造併用混構造
 地上2階
 敷地面積：198.23㎡
 建築面積：92.40㎡
 延床面積：133.17㎡